

東士狩小学校 学校だより 5月号 (令和5年5月25日発行)

さわやか

3つの「あ」 あいさつ あんぜん あとしまつ

【東士狩小学校 教育目標】

個性豊かに、たくましく生きる
子供の育成

『めざす子供像』

- 自ら学び表現する子
- 友だちと仲よくする子
- 進んで身体をきたえる子
- ふるさとを愛する子

校長 坂下 亮宏

東士狩小学校大運動会テーマ

「空高く走れ！」



日本で初めて運動会が開催されたのは、1874年、東京・築地の海軍兵学寮で催された「競闘遊戯会」とされています。また、1878年に札幌農学校（現北海道大学）で行われた「力芸会」では、障害物競走や食菓競争（パン食い競争）などのゲームがすでに行われていたようで、北海道が運動会発祥の地だという説もあるようです。昔から、体を鍛えることを主眼にしながらも、楽しむことを忘れない大切な行事であったことが伺えます。

さて、本校では6月1日（木）に運動会を開催します。今年も高学年が中心となり、「空高く走れ！」をテーマに毎日一生懸命練習しています。勝敗も大切ですが、楽しむことを忘れないで取り組んでほしいと思います。

また、地域・保護者の皆様には、当日の子供たちの頑張りはもちろん、互いに声をかけ合い、協力する姿もぜひご覧になってください。4年ぶりに地域の皆様を招いて開催する東士狩小学校大運動会。当日は是非会場に足を運んでいただき、大きな声援をよろしく願っています。



「学校生活における新型コロナウイルス感染症に係る対応」

の変更を受けて

新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ感染症」）流行以降、その広がりを防ぎながら、学校での学びを止めることなく実りある生活を進めてまいりましたが、5月8日にコロナ感染症が5類に移行したことに伴い、以降の学校生活におけるコロナ感染症に係る対応が変更になり、これまであったさまざまな制限が大きく緩和されました。しかし、これまでも繰り返しお伝えしてきましたが、コロナ感染症が完全に終息したわけではなく、すべてを以前のように実施することは難しいと考えます。そのことを念頭に置きながら、今後の教育活動を進めていきます。

また、「マスク」については、今年度4月から「着用を求めないことが基本」となりました。6月1日に行われる運動会に向け特別時間割期間に入り、運動時や暑い時にはマスクを外すよう声を掛けています。

これからさらに暑さが増し、熱中症も懸念されることから、ご家庭でも、マスクの着用についてお子さんと改めて話をさせていただければと思います。

今後の主な教育活動について、学校だより・学校ホームページなどでお伝えします。子供たちの学びが充実したものになるよう取り組んでいきます。

地域とともに子供を育てる学校づくりを目指して

第1回 学校運営協議会

4月28日(金)に第1回学校運営協議会が開催されました。今年度の学校経営方針やいじめ防止基本方針、活動計画について確認しました。

また、その後、運営協議員の皆様に「**地域としてどんな子供に育てたいか**」意見交流をしました。皆様からは

- ① 思いやりのある子供
 - ② 活力があり元気な子供
 - ③ 学校が大好きな子供
 - ④ 夢をもっている子供
 - ⑤ 挨拶ができる子供
 - ⑥ 人とのつながりを大切にする子供 等々
- が意見として出されました。

それらを実現するためにどのように子供に関わっていくか、今後もご意見を伺いたいと考えています。

本協議会は発足して3年目になります。また、新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に移行したことにより、今年度は委員の皆様にごできる限り学校に来ていただく機会を設け、子供たちの様子や学校運営に関わる助言等を多くいただきたいと考えています。また、今年は中学校区での連携や情報交流の機会(2学期予定)も設定したいと考えていますのでご協力をお願いいたします。

令和5年度学校運営協議員

- ・会長 福田 昌男(万年・高倉・鎮練代表)
- ・副会長 茂古沼 勉(東土狩・矢部代表)
- ・大場 正樹(音更町民生児童委員)
- ・田守 信夫(音更町民生児童委員)
- ・林 実(東土狩小学校 PTA会長)
- ・茂古沼和也(東土狩小学校 PTA副会長)
- ・大場 祥平(東土狩保育所保護者会 会長)
- ・加藤 光恵(東土狩保育所 所長)
- ・坂下 亮宏(東土狩小学校 校長)
- ・高岡 竜二(東土狩小学校 教頭)

花壇整備ありがとうございました PTA母の部

5月24日(水)に母の部「花壇整備」が晴天の下、行われました。お忙しい中、ご出席いただき、ありがとうございました。例年通り、1・2年生の児童と一緒に花の苗植えを、そして校舎南側(屋外ステージ)の草取りを手際よく行っていただきました。また、その前段になりますが、PTA施設部の方にも花壇の起耕を行っていただきました。おかげさまで、きれいな花壇で運動会を迎えられそうです。

花壇の苗植えが終わると、低学年が育てているトマト周辺に数人のお母さんが集まり、わき芽の「芽かき」を行っていました。農家魂に火がついたようです。「これをすると、実(トマト)に栄養がいくんだよ」「取ったわき芽を植えると、新しく根が生えてくるんだよ」と、低学年相手に家庭菜園講座が行われていました。

1・2年生もお母さん方と一緒に作業ができてとても嬉しそうでした。きれいな花が咲くはずです。そしておいしいトマトが収穫できるはずです。ありがとうございました。



「令和の日本型教育」を目指して

新しいかたちの学びの授業力向上推進事業

急激に変化する時代の中、学校には「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現が求められています。そのために、ICTは必要不可欠となっています。本校でも日常の授業の中でもタブレットを活用し、これまでの学びの良さを継承しつつも、新たな学びにチャレンジしています。

今年度は、「新しいかたちの学びの授業力向上推進事業」の連携校となり、2名の先生が月に1回訪問し、新しい授業づくりのサポートをしてもらうこととなります。限られた回数ではありますが、互いに学び合う関係を築いていきたいと考えています。



大塚智博先生
(鈴蘭小)



伊倉大亮先生
(音更小)